

連合 2013 平和長崎集会開かれる

「核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を求めて！」

～全国から連合組合員など3,300名が参加～

連合2013平和長崎集会は8月8日から9日にかけて、長崎県立総合体育館・メインアリーナで開催され、全国から連合組合員など約3,300名が参加した。連合福島からは自治労の片野さんを団長に9名が参加した。

主催者を代表して古賀伸明連合会長は「核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議の開催まであと2年、より一層の運動の強化と幅広い国民世論の形成に向け、多くのNGOや関連団体・組織の皆さんと連携し、しっかり取り組んで行きたい。



主催者を代表して挨拶する古賀伸明連合会長

また、連合は原爆や戦争の悲惨さを決して風化させないように、原爆展の開催や語り部継承運動を引き続き推進して行きたい。」と挨拶した。

続いて「2015 NPT再検討会議に向けた課題と対応」と題して、長崎大学核兵器廃絶研究センターの広瀬訓副センター長が講演され、市民の声で平和を作り上げて行くことの重要性を強く訴えた。



長崎平和集会の会場の様子

その後、原爆投下の地である広島県で核兵器廃絶に取り組む、広島実行委員会・石井一清連合広島会長から、ピースメッセージとして今後の取り組みに向けた決意が述べられた。更に、白倉あけみ連合長崎女性委員会委員長から平和アピールが提案され、満場一致で採択された。

最後に、連合長崎の森光一会長から、次の平和行動の開催地である連合北海道の安田宗一副会長に平和の絆ピースフラッグが手渡され、長崎平和集会は閉会となった。



連合福島派遣団の皆さん